

千葉市は4年連続リサイクル率No.1になりました!!

No.6

発行日/平成27年3月1日
(年1回発行)



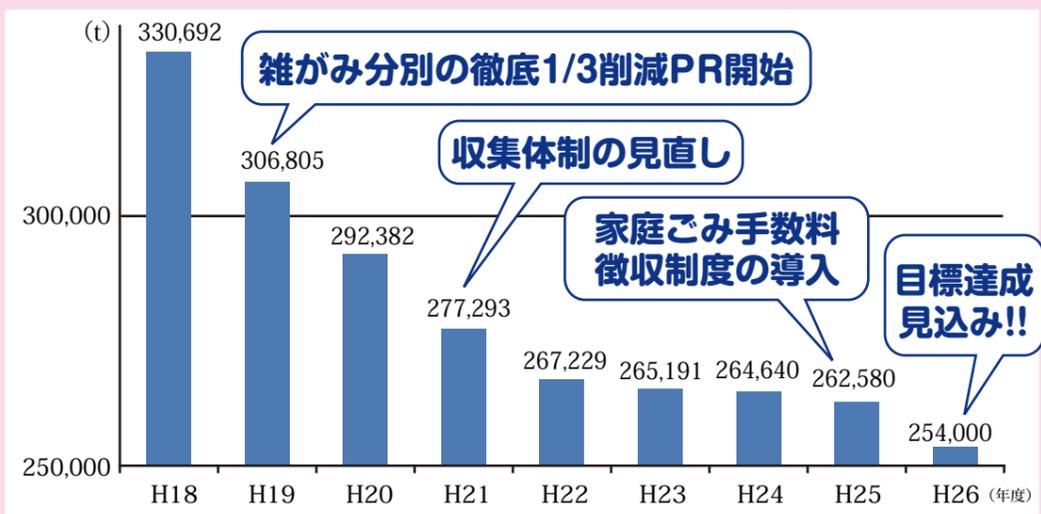
GO! GO! ゴー! ゴー! へらそうくん

【発行】千葉市環境局資源循環部廃棄物対策課 〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 ☎043-245-5379 [直通] FAX 043-245-5624 E-mail haikibutsutaisaku.ENR@city.chiba.lg.jp

焼却ごみ1/3削減の目標を達成する見込みです!

ご協力ありがとうございます。

平成19年度より雑がみの分別、生ごみの減量、収集体制の見直し、家庭ごみ手数料徴収制度の導入など、市民の皆様のご協力により、着実に千葉市の焼却ごみ量は減り、今年度は残り1ヵ月間のごみ量が大幅に増えることがなければ、目標の25万4,000tを達成する見込みです。



引き続きごみの削減に取り組みましょう!!

おさらい!!

ごみの削減
(使うごみ袋を45ℓ→30ℓに)
をするためには…?

- ★ 食品トレイなどの資源物の店頭回収を利用! ……詳しくは P.2 へ
- ★ 生ごみの減量! ……詳しくは P.4 へ
- ★ 雑がみの分別! ……詳しくは P.4 へ

今すぐ実践!
ごみ減量講習会

ごみの分別で迷った事はありませんか? 皆様の知りたい内容を、職員がわかりやすく説明にお伺いします。

詳細は千葉市ホームページ

今すぐ実践

で 検索

清掃工場の将来像

家庭ごみ手数料徴収制度の説明会において、「北谷津清掃工場を建て替えしなければその経費180億円が削減でき、教育や福祉に使える」と説明してまいりましたが、「現在の新港及び北清掃工場の2工場で永遠にごみ処理が可能であり、すぐに削減費用を使えるかのような誤解を招く」とのご指摘を受け止め、説明不足を補うため、清掃工場の整備の基本的な考え方についてわかりやすく説明いたします。

基本的な考え方

焼却ごみ量の削減により、運用する清掃工場を3つから2つにし、効率的なごみ処理を行うことで、ごみ処理費用を節減できることから、3箇所の用地で、2つの清掃工場を運用します。また、老朽化に合わせて計画的に代替施設の整備・改修を行います。⇒『3用地2清掃工場運用体制』

概ねのスケジュール	平成28年度末	平成38年度～	平成43年度～
北谷津清掃工場用地	老朽化により停止	新港清掃工場停止までに代替施設を整備し、運用	2工場で運用
新港清掃工場用地	現2工場で運用	老朽化・改修のため停止	
北清掃工場用地		運用	老朽化により停止

- ①老朽化した北谷津清掃工場を平成28年度末に停止し、2清掃工場を運用する体制とします。
- ②新港・北の2清掃工場も、いずれ老朽化を迎えることから、運用しながら代替施設の整備や改修を進めます。
- ③長期的に老朽化が先行する、新港清掃工場の代替施設の建設場所について、北谷津清掃工場跡地を念頭に整備を検討します。手続きを含め、整備には10年程度かかるため、平成27年度中を目途に代替施設整備に係る基本計画の策定を進めています。